

# ちば里山新聞

(第8号)

編集 発行 ちば里山センター  
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148  
 電話 0438-62-8895  
 題字 倉島 貴浩  
 (ワークホーム里山の仲間たち)

## 新会長決定!!

ちば里山センター  
 総会終了



### 新会長就任あいさつ

～楽しいボランティア・里山活動に向けて～

ちば里山センター会長 谷当グリーンクラブ 金親 博榮

「里山」という言葉が、この何年かで、だいぶ一般的なものとなってきました。私たちが包み込む豊かな自然、生活環境の一部としての「みどり」をかけがえのない大切なものとする人が増え、逆にその危機が認識されてきたことの表れではないでしょうか。

2003年の全国植樹祭の開催、千葉県里山条例の制定を機に、翌年、里山活動の推進を図るための組織として、「ちば里山センター」がスタートしてもうすぐ2年を迎えます。先般の18年度総会にて、任期満了で改選され、私

たち12名が新しい役員となり、3年の任期が始まりました。

この2年間は限られた予算の中で、東奔西走の期間であったといえます。全国に先駆けての条例制定は里山と市民活動を結びつける良い契機となったのですが、運営費の削減、市民団体の関与の方法等、社会情勢の変化とあいまって、パイオニア故の課題も顕在化してきました。

それらの根幹には個々の団体では自主的な判断と責任で活動が行われているにも拘らず、一旦里山センターが関わると、センターが何かをしてくれるものという期待が依頼心となり、あなた任せの心情があった点と関係者の間のコミュニケーションと運営情報の不足があったように思います。

このような認識から、逐一情報と意見を交換し合いながら、課題の一つずつ着実に対処して行きたいと考えています。身近なホームページ、新聞、会議等を活用し、各位の胸にある「千葉の里山を、活力ある存在に蘇らせる」という思いを「ちば里山センター」という舞台を通して実現したいものです。人は誰でも、自分の関わる事柄がほかの何よりも重大なものとするのが常です。しかし、そこでは、出来る人が、出来る時に、出来るだけの事をやろうという意識を皆で共有する事が継続を支える柱と考えます。

かけがえのない多くの生き物の生存環境「里山」を生かすには、県民共有の環境・産業資産として、地主である農林業家と県民、行政と企業が共に取り組む事が必要です。個々の団体の日常のしっかりした里山活動を基礎として、知恵と経験を生かし、これを仲間に広げようではありませんか。

今後里山には、各般の動きが活発となる事と思います。その中で公の分野における官と民の役割を考えながら、自立化に向けた魅力ある「ちば里山センター」づくりが必要です。皆さんの叱咤激励をいただきながら、県土の根幹、里山再生に力を合わせて挑戦しましょう。

### ちば里山センター総会報告

6月25日、ちば里山センターにおいて通常総会が開催されました。会費の徴収や運営委員増などの議案が事務局の説明後、討論した結果、すべての議案が賛成多数で可決されました。

役員は12人となり、会長に「谷当グリーンクラブ」金親博榮氏、副会長に「(特非)さんむ環連協」高橋明美氏が選ばれました。総会終了後の交流会には大槻副知事並びに川島農林水産部長が出席され、会員との意見交換や親睦を深められました。

#### ※ 会費納入のお願い

ちば里山センターでは里山活動の支援をおこなうに当たり、財政的に大変厳しいことから、会費納入をお願いすることになりました。ご理解の上、よろしくお願いいたします。 納入期日 9月25日

◎入会金	正会員	5,000円	◎年会費	正会員	2,000円
	賛助会員	無料		賛助会員	個人 一口2,000円(一口以上)
					団体・企業 一口2,000円(五口以上)

## 新役員紹介

～皆さんと一緒に千葉の里山をよりよくしていきましょう～

役職	所属団体	氏名	抱負
副会長	(特非) さんむ環連協	高橋明美	副会長として会員の皆様と一緒に里山センターを運営して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
運営委員	豊富どんぐりの森	鈴木恵子	ちば里山センターの会員が自ら活動し、その声を反映できるようにしたいと思います。
	桜宮自然公園をつくる会	所 英亮	里山体験をする小学校が2校になりました。里山の活用について聞かれることがありますが、新たに実践して創っていくものです。この課題をさけると誰も来ない里山になってしまうのではないのでしょうか。
	千葉県自然観察指導員協議会	小西博典	里山活動等を通して、皆さんが自然に親しみ自然を大切にすることを育むよう努めたいと思います。
	ちば千年の森をつくる会	新井孝男	センター発足の端緒ともなった千年の森からの委員。初心忘れるべからずをモットーに。
	市原米沢の森を考える会	鶴岡清次	里山活動に関しては微力ではありますが、里山の再生・活用のために会員の拡大、協働・連携を深め、ちばの自然「人と自然」を復活させ、活力あるまちづくりを目指したいと考えます。よろしくお願い致します。
	(特非)水と森と人とIN神崎	木内兵太郎	里山整備に汗を流す熱意が山林所有者、地域住民の考えを変化させ、条例更新にむけての希望となる。条例趣旨の原点を再度考え実行に移したい。
監事	(社)千葉県緑化推進委員会 里山を歩く会 若本重男	鈴木和彦 千葉県森林組合連合会 広瀬修二 いちばら里山クラブ 三上みどり	

## 坂本彌前会長退任あいさつ

～今日までありがとうございました～

ちば里山センターのスタートから1年余、会長の職に就かせていただきました。その間、センターは社会的にもその存在を知られるようになったかと思えます。多くの活動のなかで、とくに印象に残っているのは、昨年1月の里山フォーラムでした。驚くほど多くの参加をいただきました。里山への関心の高さの表れであったと思えます。このように里山が多くの人々の関心を呼んでいることは大変心強いことですが、いま里山や森林を取り巻く問題は決して生易しいものではありません。それらの問題を克服して豊かな自然環境としての里山を再生し、後世に伝えていくことはわれわれの義務だと思えます。そのため多くの県民や活動団体の拠り所として、ちば里山センターの一段の発展を期待します。

個人的には十分役割を果たせた思いはありませんが、支えていただいた会員の皆さん、事務局あるいは県の関係者の方々に心より感謝します。ありがとうございました。

## トピックス

～ちば里山センターの出来事～



心温まるプレゼント！

### NPO法人「ぼびあ」ちば里山センター訪問

6月14日(水)、知的障害者の地域支援を行っているNPO法人「ぼびあ」の方々約40名がちば里山センターに来訪しました。午前中、「里山を未来に引き継ぐためには」のタイトルで千葉県の里山の現状と里山再生に頑張っている里山活動団体、ちば里山センターの活動内容を説明しました。

午後は、センター内の樹木をみんなで観察しました。帰るときにお礼に手作りの竹で編んだかごと周りに木の実をあしらった額の素敵なプレゼントを頂きました(写真)。次回はみんなで森林浴を行う予定です。

60名参加

### NTT労組東関東支部環境ボランティア活動in米沢

7月1日(土)、NTT労働組合東関東支部の組合員・家族の方々が「市原米沢の森を考える会」(代表:鶴岡清次氏)の活動地で下草刈りなどの里山整備活動を行いました。NTT労働組合東関東支部は今後もこのような活動を継続していくそうです。ちば里山センターでは団体、企業の里山整備活動への参加を求めています。

## 会員団体紹介

## 市原米沢の森を考える会



7/1 N T T 労組環境ボランティア活動

などで1.5キロの散歩道と行人塚の山桜の保全整備ができました。

2年目は「いきいき市原ふるさとづくり」事業提案に採択され、会員の士気は高まり、市道整備はさらに延長し、全長約6キロになりました。更には行人塚の山桜広場をフィールドとして地域住民と里山関係団体などを交えた体験活動や交流ができるようになりました。

イベントとして昨年度は11/27「市原米沢の森整備」、12/4「現場で役立つ里山の森を活かす知恵・技術研修会」、3/26「里山一日体験」、今年度は7/1「N T T 労組環境ボランティア活動」(写真)を開催することができ、里山整備に弾みがつきました。

3年目の18年度は事業計画として、「癒しの森づくり」を目指し、市道整備を歴史と文化の発見・再生をリンクさせ「古道整備」と名付け活動に取り組みます。また、整備したシンボルツリー行人塚の山桜広場をフィールドに会員の知識・技能の修得のための体験学習会、研修会の開催をちば里山センターの支援を受けながら積極的に開催していきます。

同時にちば里山センターや地域の里山活動にも積極的に参加をし、会員の拡大と自然保護を訴えていきますので、市原米沢の活動にご支援とご協力をお願いします。

米沢の森は市原市の中心に位置し、国道297と409号線の交差点からほど近い北東部の緑豊かな小高い森です。最高峰の三角点からは東に太平洋、西に富士山や南アルプスの素晴らしい景色を望むことができます。また、江戸道や古墳などの歴史や文化も多く残っています。この森は10数年近く放置され、一歩中に入れば巨木さえも悲鳴を上げている荒廃ぶりでした。この会は広大な80町歩の森林・谷津田・巨木の保全を緊急課題として立ち上がりました。「癒しの森づくり」を目指して活動を開始し、今年で3年目になります。最初の1年目は地域の信仰していた行人塚の山桜を保全しようと立ち上げ市道・赤道の整備を行いました。一旦荒れた市道は倒木や竹藪・篠竹・藤蔓で覆われ掻き分けて入るのも困難でありました。落胆するようなこともありましたが、助成金で揃えた刈り払い機やチェーン

41件登録!

## 里山情報バンクの紹介

活動団体募集中!



このコーナーではホームページに掲載されている里山情報バンク登録情報を現地取材し、順次紹介いたします。

### ◆ 里山情報バンク整理番号 00-05-05

場所・面積：市原市天羽田（館山自動車道、姉ヶ崎袖ヶ浦IC車で3分）・約1.3ha

内容：平成14年に市の助成事業「広葉樹の森」として整備したところで、その後下刈り、間伐などを定期的実施しており、良く整備されています。場所は周辺5箇所に散在していますが、まず手始めに1箇所だけ活動協定を結ぶことも出来ます。これから里山活動を行いたいと考えている団体に最適の場所です。所有者の方は広葉樹林内の下刈り及び作業道の刈払い並びに不要木等の除伐を希望しています。これから里山活動団体をつくりたいと考えている方なども含めて問い合わせください。「ちば里山センター」が応援いたします。

600名参加！ **第3回里山フェスティバル**



1. 都市の雑木林で丸々1日里山体験コース  
(大鎌による下刈作業・市川市 5/13)



2. 竹の文化と養老溪谷里山作り体験コース  
(アジサイ・ツツジ植樹・太多喜町 5/14)



3. 東京湾を望む桜と棚田の山で自然体験コース  
(ツツジ植樹・君津市 5/20)



4. 文化の里山で森の手入れと歴史探訪コース  
(里山フォーラム・匝瑺市 5/21)



5. 白砂青松の九十九里浜の津波の歴史と植樹コース  
(クロマツ植樹・一宮町 5/27)



6. 南房総の伝説の里山で自然観察と桜の森づくりコース  
(嶺岡県有林でコースター作り・南房総市 5/28)

180名の方に回答  
をいただきました

**里山フェスティバルアンケートの概要**

参加者は男女ほぼ半々で50～60代の方が75%を占めました。このイベントは県民だよりで知った方が7%、友人などの知り合いから知った方が8%、ちば里山新聞で知った方が6%いました。各々のコースを選んだ理由はプログラム42%、日程27%、開催地域24%でした。好評だったプログラムは植樹や下刈りなどの作業体験、自然観察、里山ハイキングでした。体力的にはちょうど良い80%、もの足りない16%でした。来年も里山フェスティバルに参加したい、これを機会に里山活動に参加したいなどの回答が各々90%以上でした。感想は地元の方やスタッフの方への感謝・ねぎらいや作業体験の好評をいただきました。

**里山活動に  
参加してみませんか？**

ちば里山センターでは里山活動に参加される方を募集しています。緑の中で汗を流したり、きれいな花に心を躍らせたり、新たな刺激を受けてみませんか？

事務局から

事務局に新メンバー！事務局長に森、事務局員に宮内となり新体制がスタートしました。ちば里山センターの運営は今後一層難しくなりますが、頑張りたいと思います。